

NEWSLETTER YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERSChairperson's
messageAlex Eyquem
(YP from UK)

2009年も3ヶ月が過ぎ、我々の世代がこれまで経験したことの無い最悪の世界経済危機に直面するなか、今年がいかに挑戦的な年であるかがますます明確になってきました。

我々の中には、これが職歴の中で対処しなくてはならない最初の経済危機である者もいるでしょう。ましてやこのスケールです。すでに回避するには遅すぎますし、今すぐ路線変更できる手段も持ち合わせていません。しかし、この間に、今日の世界的な仕組みをより理解するための時間をとることは大切なことです。そうして、Young Professional (若手エンジニア)である我々は、この機会を過去の過ちから学ぶチャンスとすることが出来るのです。

我々はこの危機の結末を単一で過小評価してはいけません。業界が我々に要求するあらゆる合理的哲学でもって、全体の中での危機を考えることが重要です。また、違った視点から見るとどのように世界が見えるか想像してみましょう。

我々の業界は、この危機から表出した世界に影響を与えるであろう様々なツールを持っています。我々は、我々の業界の未来のリーダーとして、新しい体制を構築するためのこれらのツールの利用法に取り組むことを明確にする必要があります。

この危機は、我々に対するモーニングコールです。我々の価値観を見直す唯一の機会であり、将来の世代ために公正さと持続可能性の社会を進展させる機会でもあります。

これは極めて大変な志です。しかし、もし我々全員が一緒になって同じ方向に牽引すれば、実現することが出来るでしょう。

2009年9月にはロンドンでFIDIC大会が開かれます。世界の経済情勢について活発に議論がなされることでしょう。また、大会プログラム以外の場でも異なった国の人同士でお互い異なった経験を共有することもされるでしょう。FIDIC YPFSCはこの危機の中での若手エンジニアの持つ重要性を理解しています。来るべき時に我々の業界の将来を受け継ぎ、若手エンジニアの関与を促進するために、我々はFIDIC大会に参加します。

大会に参加することほど大事な時間はないでしょう、そして耳を傾けましょう。

この大会での我々の役目は、世界中の若手エンジニアの視点を代表することです。ですので、我々は、会議までの下準備期間中にできるだけ多くの皆様の意見を聞きたいのです。YPFSCはあなたのネットワークであり、できる限りあなた達の代表者としてありたいのです。

我々は素晴らしい進歩を遂げています。ですから、我々が一緒に進んでいけるように連携しましょう。

Alex Eyquem
YPF ステアリングコミッティ 議長



Bill Wallace

持続性：6段階の認識レベル

Bill Wallace (FIDIC 持続可能な開発に関する委員会 議長)

「メンバーはもちろん、クライアントや従業員に理解され、支持される『持続可能性』を定義すること」・・・主要な専門職社会のための持続可能なデザインをテーマに新しく立ち上げたタスクフォース・メンバーとして、上記の『持続可能性に関する定義をすること』が私の責務でした。

私たちは、少人数のサブグループの中で、このような定義(『持続可能性』と『持続可能な開発』の混乱と対立をはっきりと解決させるもの)に対する重大な手がかり(ロゼッタストーン)を構築するため、共に検討しました。そして議論を重ねた結果、将来世代への懸念や土木エンジニアの持つ幅広く多面的な観点を結びつけた、環境・経済・社会のバランスに対する私たち自身の見解がまとまりました。

私たちは『持続可能性』に関する定義の構築方法は把握していますが、問題の範囲、規模または重大性についてはまだ合意に至っていません。包括的合意がなければ、利害関係者は、問題の所在や持続可能性が達成できなかったときの結末について合意し得ないでしょう。すなわち、何をするか、いつするか、達成するために個々の作業をどのように取り組むかについて、決して合意しないということです。

『持続可能性』は、社会の全てが、質的にも量的にも天然資源と生態系の継続性を低下させることなく、半永久的にその生活の質を維持し改善することのできる機会と能力を持ち合わせた環境・経済・社会状況と定義できます。ここまでは問題ないのですが、人々の意見が異なるのは、その重大性と緊急性に伴って、現在の開発方法に対する具体的な制限を認識する段階においてです。

私は、さらにこの問題について考え、「6段階の認識レベル」という考え方に達しました。

1. 価値(Value)

天然資源と生態系は、貯蔵や浄水のような自然なシステムサービスによって価値が出ます。しかし、それは基本的に豊富で無限であると考えられています。このような考え方に基づき、先進国から発展途上国へのメッセージは次のようでありました。「資源は豊富ですが、我々と違いあなた方にはその資源を開発する制度あるいは能力が十分にありません。」

2. 有限(Limits)

天然資源と生態系には限りがあります。資源は豊富であっても有限であることを人々は理解し始めています。今では、発展途上国から先進国へのメッセージが次のように変わりつつあります。「あなた方は資源を使い果たし、環境に打撃を与えています。あなた方は、我々の出費であなた方の生活を維持・向上しているのです。」



NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

3.管理責任(Stewardship)

限りある天然資源と生態系は、効果的に維持・管理・強化されなければなりません。資源や環境容量が十分豊富であると想定されている間は、人々は、モラルや経済および規制・義務が資源や環境を上手く管理していると認識していません。

4.窮地(Predicament)

代替・補充または回復するよりも早く、社会は資源と環境を使い果たしています。この段階で、人々は、管理への努力が十分でなく、社会はすぐに資源と環境容量の限界に達するであろうと認識します。

5.結果 (Consequences)

現在、社会は、過剰な資源の利用または環境容量の限界に達することにより、規模や程度の点で深刻な結果が生じることに気づきました。特に先進国からの社会的なメッセージとして、「私たちは資源が乏しくなっていることを知っており、その結果を理解しています。しかし、私たちは現在のライフスタイルを維持するために資源を必要とします。私たちはその資源を確保するために争うことを決意しています。」

6.緊急性 (Urgency)

現在、社会は資源および環境容量の限界に達するか、または限界を超え始めています。これらの結末が回避不能になり、破壊され復元不能になる前に、すぐに行動しなければなりません。

当タスクフォースでは認識レベルにおいての見解が一致しましたが、専門組織メンバーの認識レベルには落胆しました。

私たちは『持続可能性』の問題を理解するために選ばれており、タスクフォースではレベル6(緊急段階)にあると判断しています。しかしながら、私たちの見解として、一般的なメンバーの認識レベルはレベル2(有限段階)と3(管理責任段階)の間にあります。FIDICにおけるメンバー間の認識レベルも同様であると私は考えます。そして、その認識は活動への推進力が制限されることを意味します。

これらの問題を前面に押し出して実行することを、FIDIC会員の若手プロフェッショナルに任せることとします。これらの結果の影響を強く受ける世代として、あなた方若手がFIDICの『持続可能性』活動に関わることで、強い立場と積極的な行動を主張することを、私は強く望みます。

問い合わせ先:

William A. Wallace

Wallace Futures Group, LLC

1400 Overlook Drive, Steamboat Springs, Colorado, USA 80487

T +1(970) 879-1122 | M +1(970) 819-2188 | F +1(970) 871-7923



NEWS

FIDIC Young Professional Management Training Programme (YPMTP) 2009

本年の YPMTP は 2 月にスタートしました。

世界 15 カ国から 21 名の参加者が、本年のプログラムに登録し、2 つの班に分かれました。参加者は、インターネット上のバーチャルプラットフォーム「eFIDIC」を通して以下の議題について議論を行います。

- ・ 成長と利益
- ・ 市場の発展：新技術、文化の変化とグローバリゼーション
- ・ 組織構造
- ・ コンサルティングサービスのマーケティング
- ・ 組織と人材の発達
- ・ 多文化運営、ビジネス公正、プロフェッショナルサービス契約

議論は FIDIC 大会前の 7 ヶ月間続けられ、FIDIC 大会前の 2 日間、参加者と進行役が FIDIC 大会会議場近くの Royal Over-Seas League club で議論を行い、FIDIC 大会で「次世代のリーダー」を選出します。本年のバーチャルプラットフォームは、プラットフォームからクラスにアクセスできるように合理化が図られており、チーム間のコミュニケーションが高められるようになっています。

プログラムの目的は、「新たなアプローチ手法。リーダーシップ・スキル。異文化理解」といった、経営課題等の議論を通して、幹部候補の若いエンジニアに興味を持たせることです。そして FIDIC 大会において、活動内容を伝えていくこととなります。

Steen Frederiksen はプログラムのコーディネータをしていて、Richard Kell, Ben Novak, Maxime Mazloun, Bayo Adeola らメンター（指導員）が支援します。

プログラム最後の発表会は「Future Leaders Workshop」と呼ばれています。最新の産業の動向やわれわれの職の将来に関する YP の声を聞く機会であるため、YP や emerging leaders だけでなく、FIDIC のシニアメンバーも出席します。

今年は世界的な金融危機の影響で、近年に比べ参加者が少ないですが（2008 年は 40 名、2007 年は 29 名）、プログラムは充実しています。このプログラムは、正式な場で発表するといった訓練に加え、YPMTP プログラムは参加者にとって世界中の新しい友人ができる場でもあり、FIDIC 内でのエンジニア同士のネットワークの礎となります。

YPMTP09 に関する詳細な情報は、下記サイトをご覧ください。
<http://www1.fidic.org/events/mt/ypmt/>

NEWS

Jacinta Holmick
(Australia)

シドニーでの The Sydney Future(net) Business Leaders Program は大成功

The 2008 Future (net) Business Leaders program が、2年連続でオーストラリアのシドニーで開催され大成功となりました。運営は、ACEA（オーストラリアコンサルティングエンジニア協会）と不動産、建築、建設業界からの多くの組織の支援によって行われました。初年度のプログラムでは、27名の若手プロフェッショナルの参加がありましたが、2008年には31名に増加しました。参加者は、測量学、構造、都市計画、推計およびプロジェクトマネジメント等、様々な経歴をもつエンジニアから構成されています。このプログラムは、業界の専門家によるプレゼンテーションとチームプロジェクトの2つで構成されています。例えば、リーダーシップ、関係構築、資金調達、契約とリスクマネジメント等のビジネス・マネジメントに関するトピックについて、業界の専門家からプレゼンテーションがなされました。これらのプレゼンテーションのテーマは、的確で実践的でしたが、多くの関係者はチームプロジェクトをこのプログラムの中で評価しました。

このチームプロジェクトでは、シドニーに名所を開発するためのマスタープラン作りを、5、6人のチームが共同で進めました。各チームは、報告書と名所を紹介するためのプレゼンテーションとポスターの準備をしなければなりません。プロジェクトを遂行するためにチームメンバーは2ヶ月間協働し、各チームには、アイデアやインプットを提供する案内役としてメンターが任命されました。2ヵ月後、報告書が提出され各チームは、土地開発会社の重役や元政府大臣、インフラ省関連機関の高級職員らが審査員を務めるパネルにおいてプレゼンテーションを実施しました。挑戦的なプロジェクトに向かって他の専門家とのネットワーク、高い経歴をもつ審査員やメンターとの出会い、他分野の専門家との密接な作業等、このチームプロジェクトにおけるベネフィットは多くのものがあり、やプレゼンテーションでの経験は彼らにとって貴重なものとなりました。



The winning team in 2008

NEWS



CNAEC



Liu Loubing
(china)

初めての FIDIC-China Excellent Young Professionals Award

中国での若手エンジニアの成長を促進するため、2005年、China Young Professionals Forum が FIDIC 内で創設されました。このフォーラムは、中国での優秀な若手エンジニアに諸専門分野の専門的技術、世界的な視点と開拓精神を提供することを目的としています。このような FIDIC の積極的な取り組みは、中国の専門的なコンサルティング・エンジニア業界の国際的な発展を目指しています。

2008年11月24日、CNAEC（中国コンサルティングエンジニア協会）が北京で年次会議を開催しました。この会議でのテーマは、“CE 業界における科学的開発に関する見解の習得と実践の促進”でした。中国コンサルティングエンジニア協会と関連協会及び政府職員の代表がこの会議に出席しました。FIDIC 会長の Dr. John Boyd は、この会議に出席し非常に情熱的で激励的なスピーチを行いました。Dr. John Boyd は、24名の優秀な若手専門職に名誉賞を授与しカップにサインをしました。24名の受賞者には、“First FIDIC-China Excellent Young Professionals Award” が授与され、彼らの分野の優秀な業績が得られ、中国でのエンジニアの発展に寄与されました。これは、FIDIC の95年間の歴史の中で若手専門職のために特別に創設された初めての賞です。若手専門職は、個々の業績の正に誇りであり、その賞は、中国のエンジニア業界全体の企業にも評価されました。

コンサルティング・エンジニア業界の影響をさらに高め、社会経済の発展に向け受賞した若手専門職による栄誉を提供するため、その賞は、人民日報や中国のコンサルティング・エンジニア雑誌と人民ネットと CNAEC のウェブサイトに掲載されました。



NEWS



SA YPF

Michele Kruger
(South Africa)

GAMA 会議 (南アフリカ、ダーバン)

3月15日から18日、GAMA (FIDIC アフリカ地域会員協会連合) 会議が南アフリカ、ダーバンの Southern Sun Elangeni ホテルで開催されました。CESA (南アフリカコンサルティングエンジニア協会) が会議を主催し、会議には10カ国から約160人の代表が出席しました。会議のテーマは「ミレニアム開発目標」でした。プレゼンテーション内容は的を得たものであり、そして質の高いものでした。CESA ウェブサイトまたは FIDIC のウェブサイト経由でその内容にアクセス可能です。

残念なことに経済的理由から、南アフリカからは、ほんのわずかの若手エンジニアしか出席できませんでした。CESA YPF 会長の Kieren Brown は、南アフリカ YPF の成功と、これらの成功をアフリカの他の地域にまでどうやったら広げられるのかについて発表しました。アフリカの全 MA に対してローカルの YP フォーラム創設を奨励する呼びかけを行いました。そしてアフリカ人運営委員会メンバーの Michele Kruger を通して FIDIC YPF 同様に南アフリカの YPF によっても支持されるものとなるでしょう。ナイジェリアとケニアは強い興味を示しました。

CESA の 2008 年若手最優秀エンジニアである Andries van Wageningen は、2008 年 9 月にケベックで開催された FIDIC 大会で YPF 活動について発表しました。



辞職する議長 Exaud Mushi は MENTORSHIP FOR YP の強いメッセージを GAMA に伝え、多くの発表者によって支持されました。

Mayen Adetiba が GAMA 初の女性議長として迎えられました。彼女は素晴らしい熱意をもってその役割を受け入れました。

ソーシャルプログラムには、ダーバン港クルーズ、2010年のサッカーワールドカップのために建設されている新しいスタジアム見学、そして素晴らしいガラディナーが含まれていました。



NEWS

Thorn Fredrik
Hensen
(Norway)

RIF の若手について

RIF（ノルウェーコンサルティングエンジニア協会）には、同組織の会員会社から構成される若手の代表のグループがあります。このグループは「Young in RIF」と呼ばれ、35歳以下の8人のメンバーにより構成されています。

「Young in RIF」はRIFの主導で2006年に設立されました。このグループの主な目的は、コンサルティング・エンジニア業界にいる若手エンジニアの積極的な参加を促す事であり、メディアの認知度を高め、RIFを宣伝し、会員企業間の知識や技術交流に貢献することを目指しています。

活動：

「Young in RIF」は理事会を年に6回開催しています。また、コンサルタントにとって非常に関心の高いさまざまな講座を開催しており、倫理、契約制度、そしてプレゼンテーション技術などトピックがあります。他にも、毎年表彰される「最優秀若手コンサルタント（uRIF juleavslutning）」という国民賞の候補を推薦し、ウェブサイトでは、「今月の若手コンサルタント」を紹介し、若手エンジニアのプロフィールを取り上げています。また、若手エンジニアに関する話題を年に2回雑誌に寄稿しています。更に、今秋には、理事会のメンバーがFIDICとEFCA（ヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合）の協議会に参加しました。

将来計画：

将来においても、私たちは講座や記事の寄稿、表彰候補者推薦などの活動を継続し、またFIDICとEFCAへの出席も続けていく予定です。現在は、ノルウェーの第2、第3の都市であるベルゲンとトロンヘイムにおいて、Young in RIF地方理事会の設立を進めています。



uRIF juleavslutning - 2008-12-17

NEWS



ACEC

ACEC が、年次総会において若手エンジニアプログラムを紹介

2009年6月25～27日の間、ACEC（カナダエンジニアリング協会）は、ブリティッシュコロンビアのウィスラーでの年次総会に、カナダコンサルティングエンジニア産業会を招待する予定です。

2009年の新しい話題として、主要なプログラムを補完するかたちで若手エンジニア（Young Professionals）が始まりました。このプログラムは、35歳以下のエンジニアを対象に、エンジニア同士の交流やネットワークを拓げる機会を創出し、若手エンジニアのために企画される多くのセッションやツアーに参加する機会を提供するためのものです。人材育成や業界への指向、社会環境への取り組み、若手エンジニアの国際交流、2010のオリンピック会場へのツアーなど、若手エンジニアに取っての勉強になり、刺激にもなるでしょう。この十分な社会的ビジネスプログラムは、熟練の経営層との広域にわたるネットワーキングへの機会、壮大な Whistler 地域を臨むオプションツアーや PSMJ の教育プログラムのオプションイベントも含んでいます。Whistler で豊富な機会が若手エンジニアを待っています。詳しい情報は、www.acec.ca または、ACEC 事務所まで



Eiko Watatsu
(AJCE)

FIDIC/ASPAC 2009 カトマンズ大会

2009年3月11日～13日、ネパールのカトマンズにて、FIDIC/ASPAC 大会が開催されました。FIDIC/ASPAC（ASPAC：FIDIC アジア太平洋地域会員協会連合）大会はここ数年毎年開催されており、今回のテーマは「Making Globalization Work: Role of Consultants」です。

大会期間中、ASPAC 臨時会議が開催され、ASPAC 地域における人材育成プログラム、ASPAC 若手エンジニアフォーラム（YPF）の設置、ASPAC アクションプランの進捗、の3つの議題について討議しました。

本大会には、多くの FIDIC 会員協会から YP（若手エンジニア）の代表者が参加しており、各協会での YP の活動が報告されました。主な参加者は次のとおりです。CNAEC（中国協会）Liu Luobing 氏、ISCE（イラン協会）Nader Shokoufi 氏、Monouchehr Azizi 氏、Shayan Moin 氏、そして日本の AJCE から渡津永子（筆者）が参加しました。

今回の ASPAC 臨時会議では、ASPAC 地域内に YPF 設立準備委員会が発足したことが報告されました。2008年 FIDIC ケベック大会以降、FIDIC 事務局は、ステアリングコミッティに若手エンジニアを派遣するよう各国会員協会に働きかけており、間もなくメンバーが確定し、2009年 FIDIC ロンドン大会では、FIDIC 会員協会に ASPAC-YPF の活動を報告することができるでしょう。

Dr. John Boyd FIDIC 会長は、より多くの YP が FIDIC 大会や FIDIC 常設委員会に参加するよう呼びかけました。また、Boyd 会長は、YP が将来の展望を確実にするためには多くの FIDIC 委員会に参加することが非常に重要であり、これが FIDIC-YPF 活動の最も重要な目的の一つであることを強調しました。

NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

NEWS

今大会は FIDIC/ASPAC 会員協会に YP の存在感を示す非常に良い機会となりました。

渡津 永子 (AJCE : 日本)



左から イラン協会 Monouchehr Azizi 氏、ウズベキスタン Mirodil Mirakhmedov 会長、イラン協会 Nader Shokoufi 氏、AJCE 渡津永子、中国協会 Liu Luobing 氏



Nader Shokoufi 氏と Subhash Mehrotra 氏

NEWS



ACE



Nicola Slattery

Making Progress

ACE(イギリスコンサルティングエンジニア協会)の Progress Network は、イギリス全土のコンサルタントおよびエンジニアリング部門から集められた若手エンジニアによって設立された、成長中の活発なグループです。Nicola Slattery が今年の最新情報をお知らせします。

この Progress Network は ACE の価値を将来の世代に継承することを目的としています。Network の現在会員数はイギリスの 5 地域から 2000 名を超え、各地域は ACE スタッフの援助を受けた 10 人の若手エンジニアのチームにより運営されており、メンバーが同業者との関係を築く機会や、ビジネススキルを提供しています。

2009 年、Progress Network さらに発展しました。3 月 4 日水曜日に、Progress Network のミッドランド支部が Aston ビジネススクールでワインの試飲会を開きました。60 人近い人々がカルムネール、カヴェルネ、シャルドネ、シュナンブランを学ぶために参加しました。それは非常に楽しい夕べであり、年間行事として今後も継続されるでしょう。

Progress Network の北東イングランド支部も、マンチェスタービジネススクールで今年最初のイベントを開きました。「好況か不況か、私たちの業界はどこへ向かって行くのか？」と題した非常に有意義なセミナーに多くのメンバーが集まりました。その中で、ESR Technology 社の Pat Lawless と WYG 社の Richard Coackley は、コンサルタント業と専門エンジニアに対する客観的な見解を示し、現状のトレンドを明らかにし、この挑戦の時代に、将来待ち受けていることに対する鋭い見方について講演しました。

これらに引けを取らず、ロンドンと南東イングランドにある Progress Network チームは今年、二つのイベントを開催しました。1 月 27 日火曜日に、海外開発庁の John Armit, Scott Wilson 社の Geoff French、Jacobs 社の Michael Whitwell、そして BDP 社の Michelle McDowell、ACE の Nelson Ogunshakin がパネリストとなり、この業界において充実した経歴を積む方法について、150 人の Progress Network の聴講者からの質問に答えました。ロンドンと南東イングランド支部によって開催された二つめのイベントでは、過去最大となる 250 名もの参加者がパークプラザホテルに集まり、Halcrow 社、Faber Maunsell AECOM Europe 社、WSP Group、TLT 社、Capita Symonds 社そして Chapman Bathurst 社からの著名な講演に耳を傾けました。講演者は以前の景気低迷期についての知識を共有した上で、現在の経済状況、注意すべき危険のサイン、そして、Progress Network がどのような問題を専門集団の将来のリーダーとして考えていくべきかについて議論を行いました。

Progress Network は、北東イングランドおよびスコットランドにおけるグループの設立や、ベルファストとカーディフで計画されているワイン試飲イベントを予定しており、2010 年までにさらに成長しようとしています。会費は無料で、都市環境や自然環境分野で働いている 35 歳以下のすべての若手エンジニアに門戸が開かれています。会員になれば、無料のビジネスセミナーに参加する機会や、同業他社との交流、活動へのボランティア参加の機会を得ることができ、さらにコンサルタントやエンジニアリング業界の将来をよりよい方向に変えたいという意志をもつ人々にとっては、このネットワークを率いるマネージメントチームの一員になるチャンスもあります。

Progress Network 参加に関する詳しい情報は、ACE の上級事業開発部長の Nicola Slattery(nslattery@acenet.co.uk)までお問い合わせ下さい。

NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

NEWS



ISCE YPF



Manoochehr Azizi
ISCE YPF
Chairperson

ISCE YPF NEWS

ISCE(イランコンサルティングエンジニア協会)の YPF は 2009 年 4 月 29 日に YP メンバーのためのライブミュージックコンサートとミーティングを開催しました。



ISCE YP メンバー 5 名が、カトマンズで行われた FIDIC/ASPAC 大会に参加しました。

ISCE 理事会に 2 名の YP メンバーが加わりました。

ASPAC-YPF-SC に SCE YP メンバー 1 名が加わりました。

2009 年春から夏にかけて、ISCE 若手教育委員会主催のトレーニングプログラムが開催されます。



Communications
Chairperson
FIDIC YPF Steering
Committee



Michele Kruger

FIDIC YPF グループの一員になる方法

皆さんもこの若いダイナミックなグループの一員になって、最新版のニュースレター、イベント（例えば FIDIC 会議とトレーニング機会）に関する情報を入手しませんか。

私達 FIDICYPF グループはあなたの国の YPs が何をしているか、そして、彼らとどのように関わっているかを調べています。下記のアドレスから YPF ホームページにアクセスして情報をお寄せください。

登録頂いた方には、ニュースレターやインフォメーションを送付いたします。あなたの情報の更新もお忘れなく。

私たちと FIDIC に関する情報はこちらから。

<http://www1.fidic.org/resources/young/default.asp>

更に詳しい情報が必要な方や私と直接コンタクトを取りたい方は、下記のアドレスへ直接ご連絡ください。

fidicypforum@gmail.com

Michele Kruger
FIDIC YPF 運営委員会
コミュニケーション担当責任者

あなたの国でも YPF を作りましょう。

FIDIC YPF と各国の YPFs の活動が気に入ったら、今度はあなたの国の番です。あなたの国の FIDIC 会員協会(MA)を通して、YPF を組織するのが最もよい方法です。しかし、そのような協会が存在しない、あるいは、あなたの国の MA が YPF を持ちたくないならば、あなたはあなた自身で YPF を始める方法一緒に考えるために、我々に連絡を下さい。FIDIC を通して、我々はあなたの YPF 組織するために協力します。あなたに必要なのはエンジニアリングに対する熱意だけです！ その熱意からあなた自身であなたの YPF が何を代表するのかを決めてゆきます。何にフォーカスをおきましょう？それは若手エンジニアのトレーニングでしょうか？若い世代がエンジニアリングに興味を持つようにすることでしょうか？それとも仕事仲間を集めた社交界のようなもの？または、これら全てですか？

FIDIC YPF として、我々はあなたの新しい努力を支援するためにできるだけのことをします！

連絡は：fidicypforum@gmail.com



NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

FIDIC YPF News Letter 2009 年 7 月号

下記の方々に翻訳を協力いただきました。
ご多忙の中大変ありがとうございました。

(敬称略)

原 崇	〇Ｙ〇インターナショナル(株)
宗広裕司	(株)長大
川野哲朗	(株)オリエンタルコンサルタンツ
香月寛之	(株)建設技術研究所
長谷川 正	(株)長大 札幌技術部
矢神 卓也	(株)建設技術研究所
石山 正人	いであ(株) 広島支店
中島 剛	オリエンタルコンサルタンツ
高樋 直人	(株)日本水道コンサルタンツ

取りまとめ
AJCE ASPAC 分科会、AJCE 事務局
担当 中島 隆志 (株)建設技研インターナショナル